一般国道253号・赤倉大橋リニューアル工事
かわら版　No.5

令和8年10月

日頃より、一般国道253号赤倉大橋リニューアル工事に対し、ご理解、ご協力をいただきまして感謝申し上げます。
10月の工事進捗状況等をお知らせします。
引き続き、安全第一に工事を進め、早期完成を目指してまいります。

■工事作業状況■


10月25日時点　ドローンによる全景写真


中間検査


橋面防水工事


舗装工事

■工事進捗状況■

～～　工事全体の流れ　～～

（工場）PC床版製作工 → 足場設置工 → 防護柵撤去・舗装剥取工 → 既設床版切断工 → 床版撤去工・設置工 → 床版間詰めコンクリート工 → 伸縮装置取替工 → 地覆設置工 → 排水施設設置工 → 橋面防水・舗装工 → 防護柵再設置工 ・ 足場撤去工

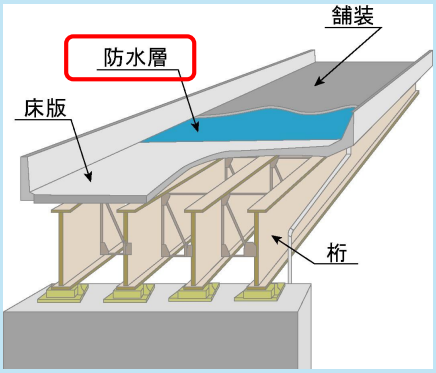
10月の主要な作業

- 10月8日、検査職員による検査を実施しました。
  検査では、仮設足場を撤去したり、路面にアスファルト舗装をしたりすると確認（目視）できなくなる床版の上面と下面（裏面）の出来形や出来ばえを確認しました。
- 検査の後、床版上面に橋面防水層の施工を行い、続いてアスファルト舗装を施工しました。

≪≪≪　橋面の防水工事　≫≫≫

『☂橋面防水は橋の傘☂』

橋面は雨水や凍結防止剤（塩分）を含む融雪水に晒されます。
舗装のすき間から雨水等が床版に浸入すると、コンクリートのひび割れや鉄筋の腐食が進行し、橋の耐久性や安全性に大きな影響を及ぼします。
橋面防水は床版への水の浸入を防ぎ、橋を長持ちさせるための大切な役割を担っています。



ステップ１

床版上の汚れ、ほこりなどを適切に除去します。

下地が悪いと防水層が十分に接着しない原因になります。



表面を研掃して汚れを取り
床版と防水層の付着性向上


路面の清掃作業

ステップ２　防水層1層目

ひび割れ充填を目的に浸透性の高い樹脂プライマーを刷毛やローラーで塗布します。


樹脂プライマーの塗布作業


２層目の材料との付着性を
よくするため砂を散布

ステップ３　防水層２層目

１層目の後に、アスファルト加熱型塗膜系材料を塗布します。
１層目の樹脂プライマーと合わせ２層仕上げにして、より防水機能を高めています。


加熱型塗膜系材料の塗布作業


次の舗装の材料との付着性
をよくするため砂を散布

作業の留意点

防水層の端部や排水口の周辺は、水が浸入しやすいので、すき間がないように丁寧に施工します。


端っこも塗布不足が
ないように丁寧に作業



排水桝周辺はメッシュ材を
貼付して防水層の破断防止



地覆の壁際は
すき間ができない
ように目地材を設置

発行：新潟県上越地域振興局地域整備部 上越東維持管理事務所 維持管理課
電話:025-592-3655 メールアドレス:ngt111953@pref.niigata.lg.jp